

箱根駅伝予選会 2021 結果(18 位・予選敗退)

2020 年 10 月 17 日に第 97 回箱根駅伝の予選会が開催されました。日本大学は総合 18 位という結果で、箱根駅伝の出場権を得ることはできませんでした。

戦前のブログで「しっかりと準備をして、力を発揮してほしい」と書きましたが、作戦(設定タイム)や調子などを含め、スタートラインに立った時点で、勝負はついていたように思います。2 週間後に全日本大学駅伝が控えていますが、現チームそして 4 年生たちの箱根への挑戦がこの時期に終わってしまい、本当に残念です。

<レース展開(チーム)>

01 位 10:23:34 順天堂大学

02 位 10:26:13 中央大学

03 位 10:29:37 城西大学

18 位 10:43:14 日本大学 ※予選敗退

レース展開及びラップタイムを見ると、フリーはドゥング選手と横山選手の 2 名。集団走の速いグループ(小坂、樋口、松岡、若山、武田)が 5km15 分 05 秒→10km30 分 10 秒、遅いグループ(疋田、谷口、遠田、桃川、小林)が 5km15 分 20 秒→10km30 分 45 秒という設定タイムではないかと思えます。

結果的に、この設定タイムが敗因の一つになりました。最初の 5km で 15 分を超えた選手の最高順位は 52 位(国士舘大学・曾根選手)。50 番以内、悪くても二桁順位を狙っていたであろう 5 名の設定タイムとしては、遅すぎたと言えるでしょう。

また、最初の 5km で 15 分 15 秒を超えた選手の最高順位は 120 位(大東文化大学・菊地選手)。151 位から 200 位にも 7 名含まれていますが、いずれも 10km を 30 分 30 秒以内で通過しています。疋田選手、谷口選手のラップを見ても、ペースは最後まで安定しており、序盤の遅いペースにハマってしまった印象です。もったいなかったですね。

昨年は自重して失敗した 2017 年の経験を活かし、高温・多湿のなか前半から突っ込んで 7 位通過を果たしましたが、今年はその経験を活かすことができませんでした。

一方、フリーだったドゥング選手と横山選手も後半失速するなど、小坂選手らを除くほとんどの選手が失速しており、調整も上手くいきませんでした。

<レース展開(個人)>

48位 62:48 チャールズ・ドゥング(2年)

14:08 - 29:01(14:53) - 44:09(15:08) - 59:27(15:18) - 62:48(3:21)

留学生の先頭集団は5kmを14分05秒と超ハイペースで通過。次の5kmを抑えて走ったところは昨年と同じですが、今年はそこからペースを維持できません。レース後半に大きく順位を落とし、昨年(62分33秒)よりも遅いタイムでのフィニッシュ。来日が遅れた影響もあったと思いますが、調整が間に合いませんでした。

81位 63:10 小坂 友我(3年)

15:05 - 30:06(15:01) - 44:55(14:49) - 59:52(14:57) - 63:10(3:18)

10km手前から前を追ってペースアップし、10000mに続き、ハーフでも自己記録を大きく更新しました。前半から流れに乗れていれば、62分台で走れていたと思います。関東学生連合の候補選手のなかでは10番手の順位。連合チームへの参加を通じて、一つでもいいものをチームに持ち帰ってほしいです。

118位 63:30 樋口 翔太(2年)

15:05 - 30:06(15:01) - 45:00(14:54) - 60:17(15:17) - 63:30(3:13)

フリーだと思っていた樋口選手がまさかの集団走。小坂選手と同様に10km手前でペースを上げるも、15km以降は失速してしまいました。設定、ラップタイムを見ても、事前に何かアクシデントがあったのだと思います。

214位 64:28 横山 徹(4年)

14:51 - 29:55(15:04) - 45:16(15:21) - 60:57(15:41) - 64:28(3:31)

昨年(24位)よりも速いタイムで5km、10kmを通過しましたが、コンディションを考えれば遅いくらい。それが10kmを過ぎてペースダウン。最後は大きく順位を落としてしまいました。

219位 64:30 松岡 竜矢(2年)

15:05 - 30:10(15:05) - 45:23(15:13) - 61:08(15:45) - 64:30(3:22)

直前の記録会を欠場しており、状態が心配されました。その影響もあってか、小坂選手、樋口選手のように10km地点でペースアップできず、後方のままでのフィニッシュとなりました。

224位 63:34 若山 岳(2年)

15:05 - 30:12(15:07) - 45:32(15:20) - 61:07(15:39) - 64:34(3:27)

松岡選手と同じく10km地点でペースアップできず、後方のままでのフィニッシュとなりました。

238位 64:52 武田 悠太郎(4年)

15:05 - 30:14(15:09) - 45:38(15:24) - 61:25(15:47) - 64:52(3:27)

入学直後から主要大会に出場し、抜群の安定感でチームを支えてくれた武田選手でしたが、10km以降切り替えることができず、徐々に順位を落としてしまいました。

248位 65:01 疋田 和直(3年)

15:19 - 30:44(15:25) - 46:07(15:23) - 61:40(15:33) - 65:01(3:21)

主要大会では初出場。ペースは最後まで安定しており、遅い集団走のメンバーでは最上位でした。序盤の遅いペースにハマってしまった印象です

252位 65:06 谷口 賢(1年)

15:19 - 30:46(15:27) - 46:13(15:27) - 61:42(15:29) - 65:06(3:24)

1年生で唯一出場。全ての区間を15分30秒以内で走れており、ペースは安定していました。それだけに、もっと早いタイム設定で走っていたらと残念に思います。

264位 65:15 遠田 光太郎(4年)

15:18 - 30:45(15:27) - 46:14(15:29) - 61:54(15:40) - 65:15(3:21)

昨年末から今年にかけてトラックの自己ベストを更新し、主要大会では初出場。最後まで粘りの走りを見せてくれました。スピードも見についていただけに、もっと速いペースでもいけたと思います。

269位 65:18 桃川 翔大(4年)

15:19 - 30:46(15:27) - 46:13(15:27) - 61:53(15:40) - 65:18(3:25)

最初は部員名簿に名前がありませんでしたが、4年ではAチームにまで成長し、主要大会初出場を果たしました。

289位 65:39 小林 陸大(4年)

15:18 - 30:44(15:26) - 46:13(15:29) - 62:05(15:52) - 65:39(3:34)

昨年はレース中の骨折がありながら87位と健闘しましたが、今年は力を発揮できませんでした。万全の小林選手の走りが見たかったです。